

濁水かわら版

第 102 号 2020 年 9 月 6 日号
 ぼけ防止を兼ねて 中安 宏規

スペイン風邪から 100 年 ⑧

日記を 75 年前の日独伊米英とコロナ禍
 読み
 歴史を振り返り 考える



■世界の感染者数・死者数

図 A1	感染者	死者
米国 ●	110万3781	6万5068
スペイン β	21万3435	2万4543
イタリア ◆	20万7428	2万8236
英国 ●	17万8685	2万7583
フランス ●	16万7305	2万4628
ドイツ ◆	16万4077	6736
トルコ β	12万2392	3258
ロシア ●	11万4431	1169
イラン β	9万5646	6091
ブラジル β	9万2202	6412
その他	88万5821	4万5072
世界計	334万5203 (+8万6036)	23万8796 (+5357)

2 日午後 5 時現在。米ジョ
 ンズ・ホプキンス大の集計
 から。カッコ内は前日比

朝日新聞 20/5/3 日 ●◆など加工した

図 A2 日本の感染者数と死者

■ 日本 ◆ 感染者	感染者	死者(人)
全国感染者	14699	517
横浜のクルーズ船	712	13
長崎のクルーズ船	148	
チャーター機帰国	14	
合計	15573	530

毎日新聞 5 月 3 日朝刊のデータ借用

訂正があります: 第 100 号 4 頁〔岩手県感染
 ゼロの 1 疏〕の 8 行目「宅地 1 ㎥当たりの人口
 密度は 0.43 人」は「0.43 万人」です。人口を
 万単位で計算したのを忘れた結果です。東京
 の 2.48 人は 2.48 万人です。比率≒1/6 は
 変わりません。ボケの進行でしょうか。

Prolog 第2次世界大戦でのベルリン陥落は、1945 年5月
 2日です。その前日、ヒトラーが自殺。さらに3日前の4月
 28日には、イタリアの独裁者ムッソリーニが、愛人と逃亡中
 に伊のパルチザン(ゲリラ)に殺害された。5月7日、ドイツは
 無条件降伏。米英仏ソ連の4か国がベルリンを占領し欧州
 戦線は終わった。その75年後、世界は眼に見えぬ新型コロ
 ナウイルスに苦闘している。70～80年周期で起こるく 一部
 の嵐)を75年前の日記や年表などで対比してみた。

① 図A1・2 の感染者数は、ベルリン陥落から75年後の5月
 2日の新型コロナ感染国ワースト10及び日本の感染者数で
 ある。驚いたのは、日本を含めた感染国リスト11国中、7か
 国が第2次大戦の主役の国。残る4か国も日本の敵であり、
 現在は重要な友好国だ。国名右の◆は日本を含め戦争を
 仕掛けた枢軸国。●は勝利した連合国。イタリアの◆は枢
 軸国から連合国に変身した印である。同国は1940年6月
 10日、英仏に宣戦布告し同9月27日、日独伊3国同盟を結
 んだ枢軸国。伊のムッソリーニは、ファシズム(fascism: 独
 裁的な国粋政治運動)の指導者。彼が要 = point から枢軸
 国(pivot)の言葉を編み出したと言われる。だが43年、ムッ
 ソリーニが内閣改造後、閣内から英国との和平交渉を始め
 る者が出た。賛同した国王は、43年7月25日に王宮に現れ
 たムッソリーニを解任・逮捕しバドリオ元帥政権が成立する。
 この政府は米英軍のイタリア上陸作戦が 9 月3日始まると同
 8日、降伏し10月13日に一転、ドイツに宣戦布告した。その
 後、国内はゼネストが起るなど労働争議が頻発しパルチザン
 が勢力を伸ばした。連合国と伊政府は彼等を正規軍に編入
 し北部を支配させた。ドイツの傀儡政権は、ベルリン陥落直
 前に降伏しミラノなど北部のボンバルディア地方は戦火を免
 れた。今回のコロナ騒動では大きな被害を受けたと伝わる。

② α は、いきなり日本に対し宣戦布告した国。β は始
 め日本と断交した国に分け、外務省編「日本外交年表」を
 基に分類すると、4国に α は無く β のみだった。理由は
 様々で概略の概略を上から述べると、次のようになる。
 β ス페인 は独伊の援助を受け、大戦中は中立を守るも
 45 年 4 月 11 日、対日断交を声明、戦後もファシスト政権
 を保持し続けた。

次頁へ

1ページからの続きを終えて、まず7月のコロナ禍を追います

前頁から) **βトルコ**は、45年1月5日、対日断交し翌2月23日連合国側に加わった。

βイランは42年4月14日、対日断交を声明したが英ソの侵略を受ける。米国に支援を求めるも解決せず大戦を終えた。

βブラジルは42年5月29日、枢軸国と戦争状態を声明。45年6月6日に宣戦布告した。日本は明治時代から多くの移民を送り込み、現在は約17万人の日系2・3世が日本で生活している。だが太平洋戦争勃発後の42年1月末、チリー、アルゼンチンを除く南北

米大陸の10か国が枢軸国との国交断絶宣を行った。ブラジルが枢軸国民の財産没収したさい、日本人排除の暴動が起き、日本政府が抗議した記録が残る。

③ 落日の1945年、日本に5国が宣戦布告した。**ルーマニア、チリー、ノルウェー、イタリア、ソ連**である。イタリアは対日同盟を破棄しての参戦。ソ連はスターリンが「日本は侵略国」と公言。同年2月のヤルタ会談で「対日戦参戦」を米英巨頭に約束した。日本は米英との和解をソ連に頼り、ソ連の参戦を8月9日のラジオで知る。ソ連を除く10か国との戦争は無かったと思われ、戦争終結へ向けたアメリカの思惑が随所に見える。

ここから、まず7月のコロナ NEWS です

TIME	NEWS
7月1日	東京ディズニーランド4か月ぶり営業再開
7月5日	都知事選小池知事3,387,223票で再選。
7月6日	政府は10日から現在の①屋内イベント収容人員の50%、②屋外1000人を●5000人に広げる。「新型コロナウイルス感染症対策分科会」が政府の方針を了承
7月10日	7月6日決定のイベント緩和を実施。赤羽国交相は8月上旬実施予定の「Go Toトラベル事業」を前倒して22日から実施と表明●批判出る
7月16日	政府は批判が出た「Go Toトラベル事業」から東京を除外し22日開始決定●批判さらに高まる
7月17日	政府は東京を除外した「Go Toトラベル事業」の予約キャンセル料を補償せず公表
7月21日	政府は「10～17日予約のキャンセル料を事業者が客に返し、政府が事業者に補償する」方式で決着はかる
7月22日	Go To Travel ● Go To Trouble で発車
7月31日	新たな感染者数過去最高を6回記録。第2波への流れを感じさせた。

こちらは75年前のNEWSです

7月1日(日)雨 飯田にてもしばしばサイレンや半鐘が鳴る。ラジオの「敵は飯田南方を東進中」などの声も聞ゆ…B29、攻撃目標を中小都市に移し始めた模様…。沖縄戦ついに終焉を告げんとす。敵の発表によれば、司令官牛島中将は腹十文字に割腹、介錯により首は前に落ちた、と。(戦中派不戦日記)。作家山田風太郎(1922-2001)の日記。当時(現東京医科大)医学生。医科大は2年生以上が6月に長野県飯田市に疎開した。

7月10日(火)晴…1830(18時30分)断続していた警報続く。延800機程度。敵機動部隊は鉾子の150° 110'に空母12、昼頃に陸軍の司偵(偵察機)が発見。海軍の方は偵察も鳴りをひそむ。悲しいことだ。(高松宮日記)

高松宮(1905-1987)。大正天皇の第3皇子。昭和天皇の弟、当時海軍大佐・横須賀砲術学校副校長。

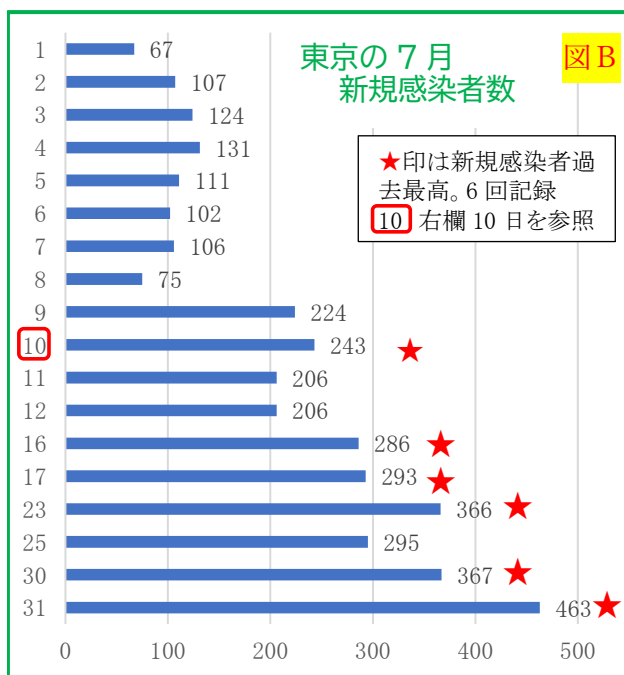
補足①150°は方角で南南東。110'は110海里≒200km。艦載機で片道30分の距離。**補足②**同年8月2日の朝日新聞は「去る10日敵機動部隊は日本近海に來襲以来、洋上補給を続け…沖縄等の航空戦力も総動員、本土空襲の米軍機はB29約4千機、艦上機8千機を含め2万機に至った」と書いている。

7月16日 米ニューメキシコで最初の実験に成功

同16日(月)晴 樺山(貴族院議員)別邸見にくく。自動車また故障し、またまた銃砲校の車を呼んでもらってかえる。(高松宮日記)

7月17日(火)雨 昨夜の空襲にて平塚(沼津)列車不通となる。飯なったのでの車で(箱根外輪山の)長尾峠を押して小涌谷の三笠(宮)様に寄って自動車をかり秩父(宮)様の飯岡に運転させて飯る。途中また故障。戸塚軍医学校の車を借りて飯京…1800(18時)下村情報局総裁、久富次長と会食す。(高松宮日記)

7月31日(火)晴 昨日まで茅野(現茅野市)で1年生の面倒をみておられた緒方校長が、飯田に來られ校長の病理学講義が始まる…校長は「金さえ儲ければとか、親の威光など何にもならない。断言しておきますが、近い将来日本は明治維新以上の大転換が参ります。その時頼りになるのは自分自身だけです」(戦中派不戦日記)



中国発コロナは まるで真珠湾攻撃再来

75 年前の日記を読んで下さい

最初の日記は昭和天皇の側近を選びました

TIME	NEWS
2019年12月12日	中国で初めての感染者出る
12月30日	武漢・中心病院の李医師がSNSで「SARS(重症急性呼吸器症候群)重症患者7人隔離」と発信
12月31日	中国、WHOに「原因不明の肺炎患者発生」報告
12月31日	中国公安、李医師に反省文を書かせる。
1月1日	武漢市、肺炎発生源と思われる市場を閉鎖。
1月3日	中国、WHOに「患者44人中11人が重症」報告
1月3日	中国の公安、「李医師がデマを流した」という訓戒書に署名させる。
1月5日	日本・厚労省検疫所HP[HORTH]が、「中国で原因不明の肺炎勃発」と注意呼びかける。

TIME	NEWS	日本正月明け
1月6日	厚労省、中国で原因不明の肺炎発生を発表。国立感染症研究所の5日の情報を基に19年12月12日から同29日まで59人が発症(うち7例重症)、死亡例無し。ヒト⇄ヒトの感染明らかでない。	
1月6日	武漢で1月3日発熱の30代男性(神奈川県)が帰国。1月10日入院→15日退院。	
1月7日	中国、新型コロナ(nCoV)を同定、WHOへ報告	
1月12日	厚労省検疫所HP[FORTH]が「中国で原因不明の肺炎勃発」続報掲載。内容は中国が11・12の両日WHOへの報告。①死亡1名確認。②中国が新型コロナウイルスのDNA塩基配列を発表、他国が特異的診断キット開発で重要な意味がある。③②によりSARSなど他の病原は除外された。④症状は発熱、呼吸苦、胸部X線撮影で両肺に浸潤陰を認める。	
1月12日	李医師、新型肺炎に感染し入院	
1月15日	国内第1号感染者。国立感染症研究所は同日夜、1月6日帰国の男性の感染を確認した。	
1月15日	①首相官邸に情報連絡センター設置	
1月16日	厚労省、「国内第1号感染者」を発表。各メディア速報も15日以前の推移は、黙殺された感じだ。発表資料に、武漢滞在中に濃厚接触の可能性ある相手は父親だった。	
1月20日	安倍首相は施政方針演説で「東京五輪・パラリンピックを国民一丸となって成功させ、新しい時代を切り開こう」と訴える。コロナの話なし。	
1月20日	中国、ヒト⇄ヒト感染認める。①医療従事者14人が感染。武漢の夫婦間感染、広東省の2組はヒトからヒトに感染したことがウイルスの遺伝子検査で一致した。②武漢以外の感染を確認。③感染者計218人 死者3人	
1月22日	安倍首相は、衆院代表質問で野党の「桜を見る会」名簿の再調査要求を拒否	
1月22日	中国の感染者542人、死者17人になる	
1月22日	東京五輪・パラ大会で選手が着公服披露	
1月23日	第92回センバツ高校野球の出場校決まる。	

雑感 安倍首相が施政方針演説した1月20日は、日本が中国発米国の新型肺炎の情報を得て3週間目、日本の第1号患者が判明し**官邸に情報連絡センター**を設けた5日後である。首相の頭の中は東京五輪とパラ大会で一杯だった？ 視野が狭いスポットライトタイプでコロナの動きが読めない

1944年12月12日(火)晴 午前零時警報発令、直ちに(皇居に)出仕す。1時半解除、3時50分解除せられ、直ちに帰宅す。就床間もなく2時35分再び警報、直ちに仕出。3時50分解除せられ、直ちに帰宅す。

10時出勤。侍従長より賜物拝受す。1時25分より2時15分迄、御文庫にて拝謁(はいえつ)。7時半及9時半2回警報発令せられたるも、状況判断により仕出せず。(木戸日記) **宮中政治家木戸幸一**(1889-1977)の日記。明治維新に活躍した**木戸孝允**=通称・桂小五郎の養嗣子・孝正の子。1940年、天皇を支える内大臣=内府に就任。重臣会議の意見や結論を天皇に伝える権限を持った。東條内閣成立に力を入れ、48年11月12日の東京裁判で終身禁固刑。55年病気のため出獄した。

1945年1月1日(月)薄曇のち晴 運命の年明く。日本の存亡この1年にかかる。祈るらく、祖国のために生き、祖国のために死なんのみ。昨夜10時、午前零時、黎明5時、3回にわたりB29来襲。除夜の鐘は壮絶なる迎撃の砲音、清めの火は炎々たる火の色なり。浅草蔵前付近に投弾ありし由。この一夜、焼けたる家千軒に近しと。(戦中派不日記)

1月15日(月) 晴午後曇夕雪 空襲のため毎日明日の命わからず。高須さんまで遺言を書いておくという。余の遺言はただ一つ「無葬式」。(戦中派不戦日記)

1月16日 晴 浅草仲店の火事は、中ほどの旧大増料理店となり写真屋1軒。また宇治の里の料理店あたりなりと云ふ。また巷説によれば、マニラの陥落も速きに有らざるべく、戦争も本年8月頃までに終局となる、なるべしといふ。(断腸亭日乗) **作家永井荷風(1879-1959)の日記。**

補足 米軍マニラ侵入は2月3日。戦争8月終局の巷説に脱帽ス。

1月16日 東京空襲 西尾壽造・都長官御進講 11月1日以降65回空襲、爆弾投下等19回被害▽敵機延べ350数機
▼死者600余名、重傷300余名
▼焼失家屋5千軒、被害者1万8千余名
▼疎開家屋5万5千軒
▼疎開人員146万人(全人口650万の2割)

めなかった？ 敢えて無視した？ 情報が少ない民間の22～23日の決定は理解できるが、政府の動きは理解できない。1941年11月22日日本の連合艦隊は、エトロフ島ヒトカブ湾に集結した。日米の緊張が高まっていた26日、米側の最終

事態は中国の春節(旧正月)後に一変した

成功の教訓を生かせず

前頁から) 回答が届くと同日、商船航路を避けて出航した。途中「12月8日に真珠湾を攻撃せよ」の命令を受け、太平洋戦争が勃発。米国は日本の無電を解説、首脳部は世論統一のため日本に先制攻撃させる考えだった。米国

の平和努力を記録に残すため天皇宛て親書作成の準備を始めていたが、真珠湾奇襲は察知できなかった。奇襲に成功した日本が、コロナの怖さや暴発の見極めに失敗した。歴史の教訓は重い。

1月23日	中国、春節(旧正月)前に人口1100万の武漢市を封鎖。日本企業約160社が進出。日本人は留学生を含め500~600人が滞在
1月25日	中国の旅行業団体は、政府の要請を受け27日から海外の団体旅行禁止を発表
1月28日	政府は感染症法に基づく「指定感染症」と検疫法による「検疫感染症」指定を閣議決定。
1月28日	中国の感染者は2,835人、死者82人
1月29日	政府チャーター機第1便。武漢からの帰国希望者約650人のうち206人が羽田着。第2便1月30日、第3便1月31日、羽田に帰着。
1月30日	② 新型コロナウイルス感染症対策本部設置 安倍首相中心に全閣僚で構成
2月3日	クルーズ船ダイヤモンド・プリンセス横浜入港
2月5日	同乗客に感染者10人判明。政府は2月5日からウイルス潜伏期間(最大12.5日)が過ぎる14日間船に閉じ込める検疫実施へ。56か国地域の乗客2666人(日本人1281人)+乗員1045人=3711人は「籠の鳥」になる。
2月6日	WHO クルーズ船の集団感染線は「日本の発生」でカウントせず「その他」に分類すると公表。
2月7日	クルーズ船の感染者が61人になる。厚労省はうち日本人28人。60代以上が50人(82%)。加藤厚労相は「集団感染は閉ざされた空間に一緒にいて、接触が相当繰り返された結果だろう」と述べ、同日から検温の徹底が始まった(毎日新聞)。また同相は、WHOが6日クルーズ船の「日本の発生」を変更したのは日本の提起と説明。あな恐ろしや、官僚国家ニッポン!?
2月14日	③ 新型コロナウイルス感染症対策専門家会議設置。安倍首相ら政府のアドバイザー役。

チャーター機での帰国者			
便	羽田着	人数	感染者
1	1月29日	206	5
2	1月30日	210	4
3	1月31日	150	3
4	2月7日	198	1
5	2月13日	65	1
計		829	14

国立感染症研究所 資料より作成

第2便感染者4人のうち1人は、帰宅後に家庭内感染が起きた

司令塔を作ってみたら、早速クルーズ船がやって来てサア大変…。閉じ込めなければ死者は少なく出なかったかも そんな考えはダメですか？



11万5875ト

2月3日、巨大なクルーズ船が横浜に入港してから政府の混乱ぶりは目を覆うばかり。左に掲載した経過を見て頂ければ、3711人を籠の鳥にして1頁の図A2の結果を招いた。外交努力で迎える航空機の要請や日本から地域別にチャーター機で送り届けられれば、国際社会から「さすが日本」の評判だけでなく、安倍首相の病氣再発もなかったように思う。

クルーズ船が突然やってきて、安倍政権は服従しないコロナ相手にお手上げ。専門家会議を2週間後に新設するも、6月廃止になる。

政府対策 ●数字 と コロナ NEWS 図D

1月15日	日本初の感染者
1月15日	① 官邸に情報連絡センター設置
1月20日	首相施政方針演説 五輪・パラ大会強調
1月29日	チャーター機1便羽田着
1月30日	チャーター機2便羽田着
1月30日	② 新型コロナウイルス感染症対策本部設置。安倍首相を本部長に全閣僚が参加。
1月31日	チャーター機3便羽田着
2月2日	クルーズ船が横浜に入港
2月5日	クルーズ船10人感染、14日間の検疫開始
2月13日	国内初の死者
2月14日	③ ②の指揮下に 新型コロナウイルス感染症対策専門家会議を新設
2月15日	米国、救援機2機を羽田へ派遣発表
2月19日	クルーズ船から解放21日まで計970人帰宅
2月25日	④ 厚労省、直属のクラスター対策班設置
3月26日	⑤ 新型インフルエンザ等対策有識者会議新メンバー決まる
5月8日	PCR検査目安「37.5°以上4日継続」を削除
6月24日	政府 ③ を廃止 ⑥ を新設
6月24日	⑥ 新型コロナウイルス感染症対策分科会設置

102号の雑感 1頁: コロナ騒動の始まりは、第2次世界大戦の参加国が主役であった。恥かしながらイタリアの変遷は今回初めて知った。

2頁: 都知事選告示前日の6月17日夜、TVで東京アラートが赤から青に変る実況を見、「そこまでやるのか!?!」と思い、最初に7月を取り上げました。10日は高松宮日記でもポイント。補足で当時の朝日新聞の記事を引用した。高松宮のボロ車と最新鋭のB29を対比し、無謀な戦争を阻止できなかった事。日本は真珠湾奇襲に成功したが、善悪はともかく、慎重に先手を打つ教訓を生かせなかった。アメリカは天皇への親書を平和主義アピールの証拠に作成を考えていたようだ。左の図Dは政府のコロナ対策を取り上げましたが、スペースの関係で緊急事態宣言など省きました。暑さに加えPCの調子が悪く、「4頁崩れ」から全頁崩壊に悩まれました。なんとか克服しました。次回以降、コロナは2頁程度で記録します。傘寿を過ぎ気ままにGO! 猛暑続くおりご自愛下さい。宏拝